

クラス	TU309	担当教員	西島 千尋
テーマ	音楽を通して教育・社会・文化について考える		
著書・論文 研究課題等	(著書)『クラシック音楽は、なぜ〈鑑賞〉されるのか—近代日本と西洋芸術の受容』(2010年、新曜社) (翻訳)『ミュージッキング—音楽は行為である』(2011年、水声社) (研究課題)日本の音楽文化、日本の音楽教育史、日本の芸能、アメリカの音楽文化など		
ゼミナール概要			
キーワード：音楽教育、音楽と社会、音楽文化、音楽表現、音楽の歴史			
目的、内容、方法、授業計画等：			
【目的】			
<p>本ゼミの目的は、音楽を通して、教育、社会、文化、について知見を深め、考えることです。音楽からはさまざまな社会問題や歴史が見えてきます。教育政策の課題、社会問題、社会変革、アイデンティティなど、多様な観点があります。また、現代の音楽科教育は変わりつつあり、従来のクラシック音楽だけではなく、世界の音楽文化や日本の伝統的な音楽も視野に入れていきます。それに伴い、幼稚園・保育園から小中学校の義務教育での音楽的な取り組みも多様化しています。そこで、さまざまな音楽を、教育・社会・文化などの観点から考え、現代の音楽教育、音楽活動に必要な考え方を身につけることを目指します。</p>			
【方法】			
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の音楽研究の動向を把握するために、基本的な文献を読む。 ・文献の内容について論じる。 ・各自がテーマと研究方法を設定し、卒業研究や卒業制作（卒業演奏）に取り組む。 ・自主的な企画を行う（2013年：児童館での音楽人形劇公演、2014：保育園での手作り楽器ワークショップ） 			
【内容】			
○卒業研究の内容としては以下のようなものが考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽教育の歴史 ・音楽教育の現代的な課題 ・保育園および幼稚園における音楽実践 ○本ゼミでは、半期に1度、子ども発達学部の学生・教員が出演する「1541 ライブ」を主催します。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画・運営 ・出演 いずれかのかたちでゼミの全員がライブに参加します。			
担当教員からのメッセージ			
<p>♪音楽を教える教員・教諭・保育士として、自分が音楽を楽しむのではなく、どうしたら音楽で誰かに楽しんでもらえるか、どうしたら地域や社会をよくできるかを考えることのできる人を歓迎します。</p> <p>♪♪本ゼミでは、通常のゼミ（文献を読み議論を行う）に加えて、ライブの出演・企画・運営、さらに外部遠征（老健施設、小学校、保育園、児童館）も行いますので、これらの活動に意欲をもって関わることのできる人を歓迎します。</p> <p>♪♪♪大学は音楽教室ではありません。西島もピアノの先生ではありません。音楽を通して、さまざまな事柄を探究したい人、考えてみたい人を歓迎します。</p> <p><u>一度、西島と直接話し合ったうえで、ゼミを決定してください。</u></p>			